

# 平成23年度6月補正予算の概要

## I 6月補正予算の概要

- 当初予算で公約実現のため年間総合予算を編成したところであるが、
- ・東日本大震災の発生を受け、4月専決予算に引き続き、切れ目のない被災地支援を行うとともに、本県独自の防災対策の見直しや被災地等支援対策、国の第一次補正予算への対応などに取り組む必要が生じたこと
  - ・雇用対策や環境対策など当面する課題への対応が必要なことから、所要の経費について、予算措置を講じる。

## II 6月補正予算の規模

○一般会計補正予算額	29億7,173万円	〔累計6,095億5,538万円〕
○企業会計補正予算額	444万円	〔累計635億8,082万円〕
◎ 合計	29億7,617万円	〔累計7,930億798万円〕

## III 編成方針

### 1 東日本大震災関連対策 5億9,748万円

#### (1) 本県独自の防災対策の見直し 6,016万円

- ・地域防災計画（原子力防災、津波災害）の見直し検討着手（567万円）
- ・県立病院、警察本部の初動体制確保のための資機材整備（2,147万円）
- ・民間木造住宅の耐震化の促進（補助制度の創設）（1,500万円） など

#### (2) 本県の影響への対応 2,423万円

##### ①原発事故等による風評被害への対応 1,298万円

- ・県産農林水産物、工業製品の放射線測定体制の整備（940万円）
- ・県産品の海外への安全・安心PR（358万円）

##### ②県内への旅行客の減少への対応 375万円

- ・本県向け旅行商品の造成支援（150万円）
- ・海外（中国、台湾、韓国）への情報発信強化（225万円）

**③養殖用餌料の高騰への対応** 750万円

- ・低廉な飼料（マダイ、マグロ）の緊急開発

**(3) 被災地等支援対策** 5億6,383万円

**①えひめ愛顔の助け合い基金を活用した被災者支援等** 3億5万円

- ◆基金の積み増し（2億37万円 うち 県1,000万円）
- ◆主な基金活用事業
  - ・被災地学校の本県への修学旅行に対する助成（4,220万円）
  - ・被災児童生徒の本県でのホームステイ支援（351万円）
  - ・被災地向け旅行の促進（旅行商品の造成支援 300万円）
  - ・被災地へのみかんジュースの提供（569万円）
  - ・被災地農産物の本県での共同販売の促進（460万円）
  - ・被災者等のニーズの変化に即応するための緊急支援枠（2,000万円）

**②国の第一次補正予算に対応した支援** 8,160万円

- ・被災地での災害ボランティアのコーディネート支援（1,455万円）
- ・被災児童生徒等への就学支援やカウンセリングの充実（6,705万円）

**③県職員、保健師、医療救護班等の派遣の継続** 1億8,218万円

**(4) 議員給与費の減額等（議員給与費、海外視察経費）** Δ5,074万円

県議会の意向を踏まえ、えひめ愛顔の助け合い基金に1,000万円を積み立てるとともに、木造住宅の耐震化促進、農産物等の風評被害への対応など東日本大震災関連対策に充当

**2 当面する課題への対応** 23億7,869万円

**(1) 雇用対策** 7億79万円

- ・雇用基金事業（県分4億3,258万円、市町分2億3,321万円） など

**(2) 環境対策** 7億8,758万円

- ・廃棄物処理センターの設備整備に対する助成（6億7,331万円） など

**(3) スポーツの振興** 8億4,300万円

- ・愛媛国体開催に向けた県総合運動公園の計画的整備

**(4) 地域活性化対策** 4,732万円

- ・えひめ・まつやま産業まつり（仮称）の開催（1,300万円）
- ・離島交流施設の整備（2,970万円） など